

「平和は当たり前ではない」2024年に想う



2023年は、「平和は当たり前ではない」ことを実感させられる年であった。
2年に及ぶウクライナ戦争は一度の停戦もなく泥沼化し戦争の長期化が避けられない
状況が続いている。一方パレスチナ戦争では、イスラエルがハマス殲滅を掲げ、ガザ地区の200万人の住民に多くの
死者と生活の場を苛烈な武力によって奪い続けている。

なぜ他国の人たちの死など当然とばかりに戦争が行われるのだろうか。お互いを人間だと思っていないのだろうか。
振り返れば日本の明治以降の近現代史はどうなっていたのだろうか。明治からアジア太平洋戦争の敗戦までの約70
年、日本は日清戦争に始まり台湾支配、日露戦争、朝鮮支配、日中戦争、アジア太平洋戦争まで他国への軍事侵略と
武力による植民地支配を繰り返してきた。まさに戦争国家、侵略国家の歴史であり、とりわけアジアにとっては軍事
支配による植民地国家であった。そして敗戦後から現在に到る約70年、日本は米国主導とはいえ米ソ冷戦の中で「与
えられた民主主義国家」として他国を侵略しない平和国家として歩んできた。それは内外の多くの死者の無念と戦後
時代を生きる人たちの戦争はしないとの思いを育んできたのだ。

だが今、私たちの身の回りはどうなっているのだろうか。沖縄・南西諸島で軍事基地建設が進み各地で弾薬庫の新
増設が予定されている。住民の暮らす町に戦車が走る光景が現れ、多くの民間空港や港を自衛隊や米軍が運用できる
体制がすすめられている。米軍の基地などが攻撃されれば民間施設も軍事転用できることになる。また政府の防衛費
倍増を受け国内の「防衛産業界」では、三菱重工、三菱電機、川崎重工、IHI、NECなどが防衛関連の売り上げ拡大に
向け設備増強や人員増を公表している。最大手の三菱重工は年間1兆円の売り上げを昨年11月の経営方針説明会で
発表した。

しかし私たちは、今も「戦争はしない」という非戦の憲法9条の上に立っている。空洞化が久しいと言われながら
もこの70余年他国との戦争を行わず「9条」の非戦を失っていない。21世紀が20世紀に続いて「戦争の世紀」と呼
ばれることはあってはならない。戦争が始まってしまえば、それを止めることの困難さは歴史だけでなく直近のウク
ライナ、パレスチナの戦争をみれば明らかだろう。「平和は当たり前ではない」私たちがどのような社会を生きて
いきたいのかにかかっている。

2024年は「平和」を考え、行動する年でありたい。

(文責 大西)

今年もどうぞよろしくお願いします

- ◆1月のつどい 2024年1月21日(日)
西区文化センター2階 第1会議室
14:00~16:00 参加費 300円(学生さん無料)
「PFAS(ピーファス)ってなに？」
講師 丸尾 牧さん(県会議員)
※詳しくはチラシをご覧ください

- ◆2月のつどい 2月18日(日)
西区文化センター2階第1会議室 14:00~16:00
「維新政治を考える」講師 藤永のぶよさん
- ◆「第16回記念のつどい」4月20日(土)
西区文化センター2階なでしこホール 13:30開演
講談 神田香織さん
津軽三味線 久保比呂志さん

「Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！」

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は 2月1日(水) 16:00~17:00

「平和な地球をめざして」

パレスチナ、ガザでのジェノサイド(大量虐殺)が止まりません。

2023 年は「神戸空襲と神戸港の写真展」に加えて「兵庫の『語りつごう戦争』展」の展示に関わりました。神戸空襲や戦時下の状況について、写真やその当時の資料などを使って戦争の全体像を伝えようと試みています。毎回、新しい視点と展示を行ってきました。

私がこれらに関わるのは、日本が経験した戦争の実態を多くの人に伝えたい、そして歴史に学ぶ、それが日本や国際社会の平和のために役に立つと考えるからです。

しかし今年に限って言えば空しく感じました。それは現実には起きている戦争に対して無力感があるからです。

特にパレスチナの惨状、イスラエルの暴力を世界中の人々が監視しているにもかかわらず、誰も止めることが出来ない事態になっています。日々テレビニュースで流される映像は悲惨を極めています。子どもたちの泣き声が聞こえます。

これが 21 世紀の国際社会なのかと悲しくなります。

私は、九条の会などの平和運動が、もうちょっと努力すれば核兵器を無くせる、人類は戦争のない地球、平穏な国際社会をつくること出来るのではないかと、人類の英知を信頼しています。

厳しい現実を突きつけられると挫けそうになります。

しかし「あきらめない」こと、それにしがみついて、2024 年も活動していきます。(Q)



今年もよろしく
お願いします。

笑って、歌って

90 分～11/25・長谷川義史講演会

さる 11 月 25 日(土)、九条の会がくえんが絵本作家の長谷川義史さんを招いて講演会をおこない、会場のユニティがいっぱいの 200 名が参加。高齢者だけでなく、若いお母さんや子どももたくさん参加されていました。

長谷川さんは自らの作品をプロジェクターで投影しながら、朗読。いきなり「おならまんざい」で始まり、有名な「平和ってすてきだね」ほか 4 編を披露。また、墨で模造紙に絵を描きながらの「ライブペイント」では幼少期の母親との暮らしなどユーモアたっぷりに語られました。最後はウクレレを演奏しながら「グーチョキパーのうた」。みんな、手をたたいて合唱しました。楽しく笑って平和を考える、あっという間の 1 時間半でした。

長谷川さんの作品はタイトルを並べるだけで相当な字数になるので割愛しますが、どれも図書館で借りることができます。ぜひみなさんも長谷川ワールドを体験して下さい。

(美賀多台 k)



ジョー
司

お題「初詣」

初詣 心身浄めて よい年を！ (空耳)

自由題

お年玉 貰ったような 体重計 (現妻)

悪政の 片棒担ぐ 棄権組 (伝伝)

2 月のお題は「節分」

y-onishi@live.jp

に投稿お待ちしております。

月のお題を
設けました
自由題も
OK です

2024 年 01 月 発行：西神ニュータウン 9 条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>



HPへリンク

能登半島地震、息長く支援を続けたい……

元日に震度7、帰省中のさなかに

1月1日午後4時過ぎ、能登半島を震度7の大地震が襲いました。この神戸でも、ゆっくりとした長い揺れが続きました。いま一ヶ月が過ぎ、現在も珠洲市や輪島市をはじめ、能登半島では多くの被災者が不自由な暮らしを余儀なくされています。東日本大震災や、熊本地震のときもそうですが、私たちにはやはり29年前の阪神淡路大震災の記憶が甦ります。実際に家屋の倒壊や肉親を亡くされた方もいらっしゃるかと思います。大きな被害はなくても、心を痛めた方は大勢いらっしゃるでしょう。このとき、「何か役に立ちたい」と全国から多数のボランティアがやってきました。ボランティア元年と言われました。こうした小さな、多くの支援が私たちを励ましてくれました。

今回の能登半島地震は、その地形や道路事情などから、直後からボランティアや公的な支援も入ることがむずかしく、報道される被害の状況は阪神淡路大震災をフラッシュバックさせるものがあります。

できることを、続けよう

何か歯がゆい気持ちですが、確実にできること、それは募金です。私たち9条の会も1月10日にプレンティ広場前で募金活動をおこないました。5000円札を入れて下さった女性、恥ずかしそうに募金してくれた茶髪の若者、ママに代わって小銭を募金してくれた小さなお子さん、一旦通り過ぎてからわざわざ戻ってきて募金してくれた高齢の男性など1時間ほどで16,644円が集まりました。さらに21日に開催したPFASについて学ぶ集いでは12,200円が寄せられ、あわせて神戸市社会福祉協議会へ送金しました。これらは最終的に日本赤十字社へ送られます。今なお水道が復旧せず、ライフラインもままならない状況も続いています。これまでにない、長期の支援が求められていると思います。少しでも気になったら、支援の手を、できることから続けていきたいと思います。9条の会として、継続的に募金の訴えを続けていきたいと思います。

そして復旧が進み、ある程度落ち着いたなら、こぞって能登へ旅行しましょう。 (美賀多台 TK)



◆2月のつどい 2月18日(日)

西区文化センター2階第1会議室 14:00~16:00

「夢州・万博・カジノなぜ中止を求めるのか？」

講師 藤永延代さん

※詳しくはチラシをご覧ください

◆3月のつどい(年次総会) 3月17日(日)

西区文化センター2階第1会議室 14:00~16:00

今年度の活動を話し合う大切な総会です。

多くの方たちのご参加をお願いします。

◆「第16回記念のつどい」4月20日(土)

西区文化センター2階なでしこホール 13:30 開演

講演 講演者 神田香織さん

津軽三味線 久保比呂誌さん

能登半島地震募金ご協力ありがとうございました

1月10日西神中央駅街頭と21日の「1月のつどい」にて被災者支援の募金を呼びかけたところ、28,844円の募金が寄せられました。全額神戸市西区社会福祉協議会(日本赤十字社に寄贈)にお届けいたしました。ご協力頂きました方々に心から感謝申し上げます。そして被災者の方々の日常が早く取り戻されることを阪神・淡路大震災から29年の神戸から願っています。

ホームページからのお知らせ

「HP活動アーカイブ」を新設いたしました。閲覧いただき、掲載が好ましくない写真やファイルがございましたら、「henshu-hp-9@googlegroups.com」西井宛てへご一報いただきたく、宜しく願い致します。

「Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！」

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は **3月1日(金) 16:00~17:00**

新型コロナって何だったの？

2020 年以来 4 年に渡り、世界中の人々を苦しめてきた新型コロナ。まだ終息したわけではなく、概数ですが、世界と日米の陽性者数、死者数、致死率（＝死者数／陽性者数）は表の通りです。100 年前のスペイン風邪のデータも参考に示しました。人口も違うし、病原体の毒性も異なり、単純な比較は難しいですが、感染被害の大きさを見れば、スペイン風邪の苦難を契機とした過去 100 年の先人の医療・公衆衛生面での努力、具体的には感染方程式の確立、電顕によるウイルス・変異株可視化、PCR 検査／隔離、感染情報のネット共有、m-RNA ワクチン等が今回活かされたのは確かです。

一方、新型コロナのパンデミックを通じて、専門家からまだ明快に説明されていない新たな課題も出てきました。①感染方程式では集団免疫が出来たら終息するのに、新型コロナでは、なぜ何度も流行を繰り返すのか？ ②国民が窮屈な想いをし、経済的ダメージも多かった 3 度の緊急事態宣言はどれ程の効果があったのか？ ③世界一豊かな米国でなぜダントツに死者が多かった？ ④自粛生活や m-RNA ワクチンの自然免疫に対する長期的悪影響は？ ⑤コロナ予備費 12 兆円の 9 兆円が使途不明？ アベノマスク、GoToTravel、中抜きした人がいる？ 等

100 年前のスペイン風邪の苦難から僕たちは多くの教訓を教わりました。将来起こる新たな感染症のために、今回の苦難からの教訓を定量的に検証して子孫に伝えるのが今を生きる僕たちの使命だと思えます。（竹の台 西元）

表 新型コロナとスペイン風邪の比較（出典:Coronaboard）

	流行期間		人口	陽性者数	死者数	致死率
新型コロナ	2020～	世界	80億	8億人	800万人	1%
		日本	1.2億	0.4億人	8万人	0.2%
		米国	3.4億	1.1億人	120万人	1.1%
スペイン風邪 (新型インフル)	1918～ 1920	世界	20億	5億人	0.5～1億人	10～20%
		日本	0.6億	0.24億人	40万人	1.6%

お題「節分」

立春が 来るのに寒～い ふところも（空耳）
人間の 所業見て鬼 にげていく（伝伝）

自由題

ガマ口を 逆さに入れる 募金箱（能登半島地震）

3月のお題は「すれ違い」

y-onishi@live.jp

に投稿お待ちしております。

1月のつどい 「PFASってなに？」

西神中央のすぐ近くの明石川で、とても高い PFAS の濃度が観測されたというニュースを聞いても、「ん？ PFAS ってなんだろう？」と思われる方が多いでしょう。1 月のつどいは、京都大学の小泉先生と一緒にその測定を行った丸尾牧兵庫県議会議員から、その PFAS についてのお話をお聞きました。

PFAS は有機フッ素化合物の総称で、焦げ付かないフライパンや衣類の撥水加工などにも広く使われています。しかし、環境に長い間残り飲み水などを汚染し、人の体内に蓄積され、幼児や胎児の成長の低下・脂質異常症など健康被害があることが指摘されています。

丸尾さんたちの調査によると、明石市と尼崎市の 19 人の血液検査の結果では、環境省による全国の調査の平均よりかなり高い PFAS 濃度が検出され、欧米の基準値を上回る値の方もかなりおられました。河川の水質検査では、明石川 38 ヶ所のうち 20 カ所で国の暫定指針値を超える値が見られ、産業廃棄物処理施設からの排水では特に高い値が出たそうです。また、明石市立天文科学館横の「亀の水」も高い濃度を示していて、地下水の汚染も示唆されています。私たちの体に取り込まれる経路は飲み水よりも食べ物からが多く、特に魚介類の汚染が大きいようです。

PFOS と PFOA という種類の PFAS については、それぞれ 2009 年と 2019 年から製造・使用・輸出が禁止されていますが、残留していたり廃棄物中に残されている可能性もあり、また代替えとして新しく合成・使用されている PFAS もその健康への影響が心配されています。丸尾県議は、神戸市などに対して、市民の血液検査を行う、農地・農産物・井戸水などの検査を行い、結果を踏まえた健康相談・健康診断を行うことなどを要望しています。また、国に対して厳しい基準値や、工場・産業廃棄物排水基準を設定することを求めるよう申し入れています。市民とともに引き続き行政に働きかけたいと話されました。（榎野台 KH）

PFAS：パーフルオロアルキル化合物（有機酸の水素原子がフッ素原子に置き換わった化合物）

PFOA：パーフルオロオクタン酸

PFOS：パーフルオロオクタンスルホン酸
（どちらも炭素の数が 8 個の PFAS）

2024 年 2 月 発行：西神ニュータウン 9 条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

能登に雪がしんしんと降っています。

被災者のこころを打ち砕くようにしんしんとー。



そんななか災害救助医が2次被害に苦しむ被災者に懸命に対応していました。絶命しかけていたひとり暮らしの老人の命を2人がかりの措置で助け、その上老人ホームへの手筈を整えて安心させます。家屋の下敷きになっている多くの人を救助隊が救い、命を甦らせています。テレビを見てひとりひとりのいのちを大切にする現場に感動します。

一方では、ウクライナ、ガザ地区、連日鉄砲玉が飛び交っています。多くのいのちが無残に断たれていきます。人のいのちが紙切れ同様です。

我が国では今、人を殺すのを目的とした銃やミサイルなどの武器の製造が勢いを増しています。昨年政府が防衛産業に発注する際の利益率をこれまでの8%から15%に引き上げるなどいくつかの優遇措置をとったため防衛産業が勢いづいているのです。三菱重工などは前年の5倍の受注があったそうです。

人殺しの武器が急激にふくれあがっています。

同時に岸田政権は武器輸出の見直しを昨年やりました。戦後ずっと、戦争にまきこまれないよう一切の武器の輸出を禁じていたのですが、安倍政権で輸出の道を広げ、さらに岸田政権では大幅な輸出緩和です。いま、日・英・伊が共同開発し日本で生産した次期戦闘機の輸出を岸田さんは血まなこになって急がせています。

ウクライナやガザの紛争に使われる可能性は目に見えています。まさに憲法違反です。

いのちを守る救急の現場とは真逆のことが国策によって進められている、この矛盾。

確たる歯止めもなく人を殺傷する目的の武器が世界にどんどん増えてきています。ふたたび戦争を繰り返してはならないというのがわたしたちの思いです。ふたたび戦争にまきこまれないように、そのために憲法9条があります。このところの岸田政権の異常な軍拡路線はそれに逆行して、いっぱい危うさをはらんで進んでいます。

(狩場台 山口洋司)

◆3月のつどい(年次総会)3月17日(日)

西区文化センター2階第1会議室

14:00~16:00

- *23年度活動の振り返り
- *会計報告
- *24年度活動について話し合い
- *神田香織さん紹介DVD視聴
(はだしのゲン短縮版もあります)
- *年会費(1,000円)納入もお願いします。



◆「第16回記念のつどい」4月20日(土)西区文

化センター2階なでしこホール

13:00開場 13:30開演

講演「今こそ平和への祈りを」神田香織さん

<記念のつどい> チラシができました

地域のチラシ配布にご協力お願いできる方を募集中です。ご協力願える方は 島田(090-5137-6837)まで連絡をお願いします。

「Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！」

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は4月1日(月) 16:00~17:00

夢洲万博・カジノなぜ中止を求めるの？

2月のつどい 大阪市民ネット代表藤永延代さん

大阪万博(’25/4/13～6カ月)は会場整備だけでも2350億円かかり、350億円の木製大屋根リングや2億円のトイレ2ヶ所等経費は底なし。原状復帰解体費用も不明で「やめるなら今」の声が高い。キャンセル料は今なら325億円。4/12以降は844億円で素早い決断が求められる。2012年頃、橋下、松井元府・市の長によりIRカジノとセットで、お友達安倍、菅元首相も相乗りし、国の経費も見込んだ計画が始まった。彼らの府市一体の大阪都構想は地方自治を潰す道州制同様、安上がりで統制しやすい中央集権的な国家戦略に基づく。

夢洲はゴミの集積場として造られた人工島で、「負の遺産ではなく、有効活用」と言うが、災害時の大阪では2000万トンの出ると予想されるガレキの置き場である。(能登地震では250万トンのガレキ処分に困っている)。元々大阪は1800年前、海の中で辺野古と同じ軟弱地盤。高価な杭を何本も打っているが既に4.8m沈下している。東日本大震災の長周期地震動で橋下元知事も咲洲庁舎全面移転を諦めざるを得なかった。夢洲は4区画にわけられ、それぞれのごみも管理者も違う。1、2区は万博に。3区はIRカジノに。4区は国の事業でコンテナヤードが稼働し、賃貸物件も辛うじてある。4区以外はPCBやダイオキシン、PFASなど有害物質汚染土壌。特に万博にも使われる1区は危険な立ち入り禁止区域だ。3区はIR会社に指摘され、788億円を市が負担し上部汚染を除去した。土は山口から。IRも80mの杭を打たねば高層ホテルは建てられない。

万博では府市の全小学生から高校まで2回見学に行かせるというが、1日20万人を通す橋とトンネルの渋滞は避けられないし、万が一の避難計画はない。排水管は1本のみで、真夜中にバキュームカーと給水車が走る会場。どう考えても中止しかない。

万博が止まるとカジノも止まる。藤永さんはご高齢のハズだが迫力満点で、夢洲に何度も足を運びドローンを飛ばし、確かな資料に基づき官庁と掛け合い、裁判闘争もする恐るべき「大阪のおばちゃん代表」で、皆さん圧倒され元気をもらいました。

(後日25,500円の裁判カンパのお礼のメールがありました。文責 市原)

神田香織さん、「歴史に命を吹き込む」!

今年のつどいは4月20日(土)西区文化センターなでしこホールで行います。

講演は神田香織さんの「はだしのゲンを語り続けて38年、今思うこと」です。神田さんの講談について、多くの記事がネット上に有りますので、一部を抜粋して、神田さんの平和への思いを紹介します。

○ 講談「はだしのゲン」は40年前、サイパンで戦争の惨状を見て鳥肌が立ち、戦争を語りたいたったのがきっかけです。

○ その後、沖縄、長崎、広島と戦跡巡りをする中で、漫画「はだしのゲン」に出会いました。

○ 原爆被害や戦争をつづった本や映像はたくさんありますが、講談で「語る」意味は何か、それは固まってしまった歴史に命を吹き込むこと。生身の私が語勢を込めて歴史を語れば、聞く方の眼前に今まさにそれが起きていることとして受けとめてもらえるのではないかと。そういう現場の目撃者になってほしいのです。

○ 日本は世界で唯一の被爆国です。今日「核兵器使用」も視野に入れ、他国を攻撃すると公言してはばからない国があります。・・・被爆国日本は戦争を否定し、平和の理想論を説く権利と義務があるのではないのでしょうか。

○ 私、神田香織はしつこく「広島、長崎の怨念」と「命の平等」を声高に訴え続けていきます。

このように、神田さんは平和へのこだわりを強く持っておられ、昨年の夏、広島市教育委員会が平和教育副教材から「はだしのゲン」を削除したことについても、直後の講演会で強く批判されています。また、「芸人9条の会」でも活躍されています。4月20日(土)のつどいで、一人でも多くの方に神田さんの「今こそ、平和の祈り」を聞いて欲しいと思います。



お題「すれ違い」

4月のお題「遍路」

泥棒も 一諸に防犯 パトロール (空耳)

自由題

涙目で きつとアンネは ガザ見てる (伝伝)
「申告」の 収入蘭に 記す「不明」(確定申告)

y-onishi@live.jp

に投稿お待ちしております。

2024年3月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

「はだしのゲン」で語り継がれるもの

来る4月20日の記念のつどいでは、講談師・神田香織さんを西神にお招きし、「はだしのゲンを語り続けて38年、今思うこと」と題して講演を戴きます。

「はだしのゲン」は、6歳で被爆した中沢啓治さんの自伝的作品で、累計発行部数が1,000万部を超えるロングセラーです。悲惨な原爆に負けず、逞しく生き抜く少年を描いた名作として国内外の評価は高く、日本史物漫画ランキングの第1位にも選ばれました。2010年のウイーン核拡散防止条約の準備委員会で、日本政府代表団は英訳版を加盟国に配布するほどでした。

1945年8月6日、B29から投下されたウラン型の原爆は広島上空600mで爆発し、キノコ雲が湧き上がりました。でも、キノコ雲の下で何があったのか、なかなか分かりませんでした。なにしろ、大半の人が亡くなったし、生き残った人も思い出すのもおぞましい経験でしたので。そこで、戦後、「事実」を風化させないために多くの市民が協力し、遺品や写真などあらゆる資料を収集、平和記念資料館開館に漕ぎつけました。僕も小学生のとき、広島出身の祖父に連れられて資料館を見学し、焼けただれた少年の姿にショックを受けました。2017年には、往時の街並みや米軍の航空写真などから、日常が失われたあの一瞬が復元され、1分半のCG映像になりました。

一方、「はだしのゲン」は、キノコ雲の下で生身の子どもが何を思い、どう生き抜いたか描いた物語です。「事実」がさらに人間の「真実」で裏打ちされています。だから、長く愛読されてきたし、生きた教材にもなってきた訳です。ところが、安倍長期政権が始まって以降、島根の学校図書館で「はだしのゲン」閲覧が制限され、最近では地元広島市が平和教育の副教材から「はだしのゲン」の排除を決めました。これらの動きに対して、NHKクロースアップ現代は、右翼団体・日本会議から教育委員会に横やりが入ったことをスクープしました。偏狭な愛国主義で子どもの教育を捻じ曲げるなど、時代錯誤も甚だしく、最近の裏金問題と同様、長期政権の膿によるものでしょう。

唯一の被爆国として、「事実」と「真実」を語り継いでいく重要性は言うまでもなく、西神NT9条の会としても、神田香織さんのライフワークに改めてエールを贈りたいと思います。（タイガー）



◆「第16回記念のつどい」4月20日（土）

西区文化センター2階なでしこホール

13:00 開場 13:30 開演

講演「今こそ、平和への祈りを」神田香織さん

*詳しくはチラシをご覧ください

チケットを広げて下さい

チケットお申込みは島田（090-5137-6837）

大西（090-3359-0776）まで

◆5・3兵庫憲法集会 5月3日（祝）

神戸みなとのもり公園 13:00 開会

メインスピーカー 内田樹さん

*詳しくはチラシをご覧ください

西神中央駅改札口 12:00 集合で参加しましょう

◆兵庫憲法集会プレ集会 4月12日（金）

長田区文化センター 18:30～ 参加費 500円

（講演）長岡徹 関西学院大学名誉教授

◆5月のつどい 5月19日（日）詳細は次号で

「Act Now 1(イ千)の日行動にご参加を！」

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな！」のアピール行動が続いています

★次回は **5月1日(水) 16:00～17:00**

—「健康に関するミニ講演 &
西区・西神うたう会」開催—

去る3月19日午後、西神中央ホール第1スタジオで表題のうたう会(神戸市役所センター合唱団主催)を開催しました。これまで、活動拠点である兵庫区の会館で毎月うたう会を開催してきましたが、今回初めて会館を飛び出して地域での開催にチャレンジしました。たくさんの方々と出会い、つながり、うたの輪・平和の輪を広げながら、来年11月に神戸で開催される「日本のうたごえ祭典」で全国の歌の仲間たちと集いたい…そんな思いからの第1歩でした。

当日は西神NT9条の会や神戸医療生協、新日本婦人の会の皆さんをはじめとする39名の参加があり、ほぼ満席となりました。

最初に医療生協の松岡茂樹さんのミニ講演「フレイル予防」があり、身近で切実なテーマだけに熱心に聴き入りました。また講演の関連で実施された握力測定には24名の方が参加され好評でした。

講演後のうたう会は、合唱団のメンバーによるリードで「花」からスタートし、会場からのリクエストも受けながら「上を向いて歩こう」「たんぽぽ」「憲法九条五月晴れ」「川の流れるように」、非核神戸方式を歌った「波よひろがれ」(手話付)、またみんなで体を動かしながらの「ドレミの歌」など15曲を歌いました。

次回は同じ会場で7月12日(金)

14:00~16:00 に開催予定です。

ぜひまたご来場をよろしくお願い致します。

(神戸市役所センター合唱団 萩原)



お題「遍路」

石段の 下で待ってる ご朱印帳 (骨歩)

自由題

ガザからは すべての神が 逃げていく(伝伝)
「どう生きる」 術(すべ)を教わる 政倫審
(現妻)

5月のお題は「坂」 y-onishi@live.jp
に投稿お待ちしております。

2024年度総会報告

3月17日(日)14時から文化センター第1会議室で13名参加で開催しました。

議事はまず、

1. 会計報告(宮下)、会計監査報告(藤岡)がありました。

① 会費収入が51名分であり、会費徴収が課題

② 会計期間は総会の開催とは関係なく、2月1日から翌年の1月31日とする。

③ 記念のつどいの収支を収入計と支出計を計上し、記念のつどいの損益関係が分かるようにする。

2. 大西会長から昨年の政治状況(ウクライナ、パレスチナ戦争、軍事力増加、自民党金権政治、生活苦など)と「月のつどい」、「記念のつどい」の説明がありました。

3. 続いて、今年の政治状況と今年度の取り組みの説明があり、まず、世界各地で戦争が行われている中で「平和をどのように具体的に市民に呼び掛けて行けばいいのか」という課題を前提に、以下の説明がありました。

・「月のつどい」「1の日行動」「NEWS」「HP」の定期的実施。講演会の講師の公募。運営委員の担当テーマを設定。他団体行事への参加。会員の加入促進。運営委員会の月例開催。運営委員の拡充。会費納入促進のためのPR強化。など

(意見として)

・会員を増やすためのPRの内容に工夫が必要・若い人の参加がないとSNSの発信が難しい・会を持続可能にするためにHPのメンテなどを若者対象に発注する等の努力が必要ではないか・記念のつどいの毎年開催は負担になってきている。若い人を焦点にした活動を考える必要がある・花見の提案・・・等

4. 役員体制として会長(大西)、事務局長(島田)、会計(宮下)、事務局(本田、西井、角屋)

5. 議事承認後、第2部として YouTube から神田香織さんの講演の様子を30分ほど視聴しました。

6. 4月20日の記念のつどい成功に向けて努力を確認し、議事を終了しました。

2024年4月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>



HPへリンク



第16回記念のつどい「**今こそ、平和への祈りを！**」

講談交えた講演と津軽三味線に感動！ ～190人が集う～

バチをたたきつける激しい津軽三味線の音でつどいは始まった。当初予定されていた久保比呂誌さんに代わり演奏してくれたのは、新進気鋭の津軽三味線奏者の中村卓也さん。津軽よされ節の演奏が終わり、中村さんが「18歳です」と自己紹介すると、会場から「ウォー」

という歓声が上がった。

「よされ」は「世去れ」も意味していて、悪い「世は去れ」と歌う。津軽あいや節、青森民謡メドレーの次は、なんとリベルタンゴ。津軽三味線でアストル・ピアソラの名曲を聴くとは。続いて「春の海」。宮城道雄が、瀬戸内鞆の浦の穏やかな海をイメージして作曲したといわれるこの曲を津軽三味線で聞くと、静かな瀬戸内と荒々しい津軽海峡の海が思い浮かぶ。最後に津軽じょんがら節。短い時間だったが、津軽三味線のいろいろな音を堪能できた。中村さんは東京へ活動の中心を移すそうで、また西神へ来てもらって、もう少し長い時間演奏が聞けるとよいと思った。



休憩の後には、神田香織さんの講演「はだしのゲンを語り続けて38年、今思うこと」だ。神田さんの生い立ち、講演師を志したいきさつから話が始まった。サイパン旅行で訪れた「万歳クリフ」で戦争の悲惨さに思いを寄せ、その悲劇を語りたいと思ったこと、チェルノブイリ、福島原発事故を語り継ぎたいという気持ちから新作講演をやるようになり、その一つとして「はだしのゲン」を語るようになった。

講演「はだしのゲン」は、照明・効果音などを伴うかなり大掛かりなもので、今回はスタッフを必要とする部分抜きで、神田さんの語りだけで行われた。原爆を投下したB29の爆音、原爆爆発に伴う暗闇など、神田さんは巧みな語りでそのシーンを説明した。それとともに、昔、漫画で読んだ情景が目に浮かんだ。被爆直後に、一瞬にして黒い炭になってしまったおばさん。ガラスの破片が全身に刺さりキラキラと日の光を反射しながら、シャリシャリとガラスの擦れる音を出しながら歩く被爆者。皮膚がむけてつららのように垂れ下がり、両手をあげて幽霊のように歩く人々など、神田さんの語りの臨場感はすさまじかった。漫画を読んだときより想像力をかきたてられ、胸に迫るものがあった。私と同じように話芸の描写力に驚いた方も多かったのではないかな。

津軽三味線の演奏、講演師の話芸、共に私たちにとって大切な想像力をかきたてられる刺激的な記念のつどいだった。（榎野台 K H）

募金のご協力 ありがとうございました

5月20日の16回記念のつどいで活動募金をお願いしましたところ、50,763円が集まりました。皆さまのご厚意に感謝いたします。

◆5月のつどい 5月19日（日）

「外国人にとって、日本は？」

松坂真帆さんに聞く（TRY 外国人労働者・難民と共に歩む会）

西区文化センター2階第1会議室 14:00～16:00

※詳しくはチラシをご覧ください

◆6月のつどい 6月16日（日） 内容は次号で

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は 6月1日(土) 16:00～17:00

「個」が主役になれる「みんなの図書館」をめざして

みなさんは、「みんなの図書館」というのを聞いたことがありますか？

本を通して人の交流が生まれる「まちライブラリー」の一形態であり、一箱本棚オーナー制度の私設図書館のことです。本棚オーナーは、約30cm四方の本棚を借りて好きな本を並べます。個性豊かな本棚が並び、みんなで作り育てるコミュニティライブラリーです。

多世代が交流でき、「個」が主役になれる地域の居場所を西神につくりたい！友人とともに「トナルバ」という団体を立ち上げ、活動を始めました。誰かが誰かのそばに寄り添える「隣る場」、そこに集う人の夢や思いが形「と成る場」という意味を込めています。

とはいえ、このニュータウンで物件を探すのは至難の業です。

そこで先日、お薦め本を持ち寄り、紹介しあう「推し本推し活ライブラリー」というイベントをプレンティで開催してみました。自分の好きな本や地域での活動を思い切り「推し」てもらいます。POPを書いたり、本を並べたり、全て参加者の皆さんが「主役」となり、見事な本棚を完成させてくれました。団体、個人あわせて45組の参加、集まった本は171冊。新たな本や人との出会いを生みながら、赤ちゃんからお年寄りまで500名を超える来場者で賑わいました。

本という媒体を通して、人と人はこんなにつながりあえるんだ…「好き」を語る顔は本当に素晴らしい。イベントを終えた今、そんな光景があふれる常設図書館への思いを一層強め、読書会やイベントを重ねながら、空き家などの場所を探しています。

私が大好きな憲法13条「すべて国民は、個人として尊重される」

自分が暮らす地域の人たちと一緒に、日常の中でそれを実践するのが私の楽しみであり、平和活動であり、夢でもあります。（美賀多台 羽田）

ジョー

お題「坂」

ゆっくりと 景色楽しむ 下り坂 （空耳）

自由題

ガザ発の地獄 世界は 見てるだけ（伝伝）
買わぬなら 値上がりもせず イージス艦
（防衛省）

6月のお題は「古墳」 y-onishi@live.jp
に投稿お待ちしております。

憲法9条は死んだか

憲法9条は1954年の自衛隊創設により非武装という歯止めを失った。2015年の新安保法制では集団的自衛権の行使を一部容認し、自衛隊に他国間戦争の一方に加担する道を開いた。2022年の安保三文書ではミサイルによる他国領域への攻撃を容認し「専守防衛」を骨抜きにした。「戦争放棄」と「戦力不保持」の9条は、これらの実質的改憲によってもはや「死んでしまった」という学者もいる。

それでも、自衛隊が他国の戦争に出動するのは「わが国の存立が危機に陥り、国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険があるとき」に限るとの制約をおき、その出動には国会の承認もいるとの規定を存続させている（自衛隊法76条1項二号）。この規定は、いざ台湾有事となったとき、内閣が米軍からの要請に応じて唯々諾々と自衛隊を出動させるのを、主権者である国民が国会を通じてチェックするためのものである。自衛隊創設以来ずたずたにされてきた憲法9条がそのよれよれの身体でふりしぼる残照のようなものかもしれない。

ところが、この4月の日米首脳会談では、米軍と自衛隊の指揮統制機能の統合強化の方針を打ち出した。ぶっちゃけて言えば、台湾有事の際、米軍は自衛隊を全面的指揮下におき、望むまま「必要最小限度」など顧慮せずにこき使う仕組みで、日米両軍の共同作戦計画の総仕上げというべきものである。ここまで整えた準備態勢にあって、自衛隊が台湾有事に出動しないということが考えられるであろうか。いや、米軍から出動要請がきたとき、わが政府は「存立危機」の要件判断、国会の承認など憲法9条が戦争回避のために設けたチェック機能を巧みに回避し、自衛隊をただちに米軍の指揮下に出動させようとするであろう。そうやってしまえば、憲法9条はまだ生きているといえるだろうか。（美賀多台 伊東武是）

2024年5月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>



HPへリンク

忍び寄る戦争

4月に神戸市営地下鉄に乗っていると、ある車内広告が目に入ってきました。大きい文字で「予備自衛官補」募集と書かれています。昼下がりの静かな車内になにかザワザワする空気が漂ってきます。ネットで調べてみると防衛省は、今年度陸上自衛隊、海上自衛隊で計1500名の隊員募集を行っており、応募年齢も従来の32才から52才に拡大すると記されています。以前の新聞報道で「神戸市が17才と21才の若者の電子データを自衛隊に提供」が思い出されます。この2月には神戸市民が「個人情報の保護」を訴え、神戸市役所との裁判が始まるとも伝えています。

日本には徴兵制はありませんが、改憲で9条3項に「自衛隊」が明記されるとどうなるのでしょうか。小学生の孫の顔が頭の中をよぎります。

5月に入って上場企業の決算発表が続いています。「防衛産業」の最大手の三菱重工や川崎重工、IHIでは国の防衛予算の拡大を受け軍事関連の売り上げや受注を急拡大させています。三菱重工では今年度2兆円の受注計画を公表しています。また政府は、英・イタリアと共同開発中の戦闘機の輸出を可能にする閣議決定を行いました。さらに岸田首相は4月に訪米し「有事において自衛隊が米軍の指揮統制にはいる」と共同宣言で述べています。

今、国内ではアメリカの対中軍事戦略の前線基地として沖縄や南西諸島で新基地建設が強行され、本土の各地でも弾薬庫の増設、民間の空港や港湾の軍事利用に向け施設増強に多額の予算が計上されています。また経済安全保障の分野では、「経済安保版秘密保護法」が国会で審議されており、官民の技術者・研究者数十万人を対象に家族や国籍、犯罪歴、病歴などの調査を可能にし、最高刑10年に処するとしています。地方自治法においても緊急時の国による自治体への統制を強化する法案が予定されています。

私たちは今、円安による物価高と実質賃金の慢性的な低下でとりわけ非正規労働者や年金者など弱者のくらしは深刻な状態にあります。さらに社会保険料の増額、今後予想される増税も身近に迫っています。私たちはもう一度この国の在り方を見つめなおすことが求められています。ウクライナやパレスチナの現実、私たちのいのちと暮らしを支えている平和の大切さを教えています。しかし平和であることは、平和で生きていくことは簡単ではありません。だからこそ平和への日々の努力が必要なのです。振り返れば戦後約80年、平和憲法の下で戦争をしない平和な時代を過ごしてきました。そして平和への強い想いが9条の「非戦」にその価値を見出してきたのです。

戦闘は突然始まりますが、戦争は突然始まるものではありません。戦争は平時に着々と準備されていくのです。
(春日台・大西)

◆6月のつどい 6月16日(日)

『港の軍事利用と非核「神戸方式」について』

講師 谷口 利之さん(全日本港湾労働組合)

西区文化センター2階第1会議室 14:00~16:00

参加費 300円 学生さん無料

※詳しくはチラシをご覧ください

◆7月のつどい 7月21日(日)

西区文化センター2階第1会議室

14:00~16:00 参加費 300円

※内容は未定です

◆8月のつどいはありません



Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No.1 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は 7月1日(月) 16:00~17:00

「台湾有事？」の台湾・金門島を訪問して・・・

5月22日～25日まで、日本 AALA(アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会)主催の「平和の旅」で、台湾・金門島を訪問しました。参加者は41名。

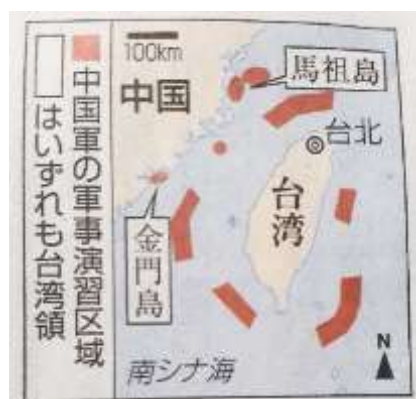
(金門島は中国本土から約100km、台湾本島から約200km、人口約6万人)

5月20日の頼 清徳総統の就任演説で「中華民国と中国はお互いに隷属しない」との発言に、中国政府が「台湾独立のたくらみへの懲罰」として、22～23日に軍事演習を行いました。まさに、「台湾有事？」の最中の訪問となり、参加者の家族から旅行会社に心配の電話が数件寄せられました。

金門島のガイドは31歳。彼は、大学卒業後、琉球大に留学し、金門島に戻ってきました。彼曰く、「今回の演習はいつもの演習で、町の様子は普段と変わらない」とのこと。実際、私たちは金門島の中心街を散策しましたが、反共的や国防意識向上などのポスターは見かけず、台湾有事？の雰囲気は全く感じられず、観光の島でした。

ただ、ホテルに戻っての TV では、軍事演習の様子が映し出されていましたが、日本のメディアと同じように、「危機」を過大に煽っているようでした。NHK も同様な報道をしていましたが、現地人のインタビューでは、「普通の生活ですよ」との声しかなかったのは、それが現地声を代表しているからだと思いました。

ガイドの「平和であるためには、隣国との交流を強めることや、台湾のように世界に貢献できる産業(IT 産業)を育成することも大切(日本にはこれまで自動車などあった)」との発言に、日本の今後のあり方を示していると感動しました。



『外国人にとって日本は！-入管(出入国在留管理局)は「人権無視の外国人収容所」なの』

講師: 松坂真帆(外国人労働者・難民と歩む会)

5月19日の2時から、標記のタイトルで学習会を行いました。(参加者: 20名)

一般的な市民からは、ちょっと離れたように見えるテーマですが、これは日本の民主主義や人権擁護が、国際的にどの程度の水準にいるのかがよくわかる問題です。それは私たちの生活や働き方など身近な課題にもつながります。

松坂さんは神戸市外大の在学中、そして卒業後もこの活動を続けておられる20代の女性です。学習会では用語解説等、初歩的なことから現在の課題まで、ていねいな説明がありました。

仮放免者や送還忌避者など、聞きなれない言葉ですが、政府が日本在留を認めない外国人です。彼らは犯罪者でもないのですが、働くことを許さず社会保障も認めないという、日本政府の扱いは非人道的な酷いものです。

入管の収容所でスリランカの女性が亡くなられた事は非常にショッキングな事件でしたが、最近の15年間で17人の死亡者を出すという異常さです。松坂さんの「その原因は戦前の特高警察の流れを汲む差別意識と拷問に近い処遇」という指摘は、大変厳しいものです。

西神中央の街中でも外国人と見える、観光客ではない若い人が増えています。日本社会はますます労働力が不足し、彼ら移民を必要とします。

国際的な標準をよく知り、現状を変えて移民を受け入れる環境をつくり、多様な人々が共生する社会にしたいと思いました。(Q)

お題「古墳」

ニュータウン いくつか古墳と 呼ばれてる (骨歩)

自由題

輸出した 武器が日本を 攻めてくる (空耳)

裏金は 悪法つくる 原資です (伝伝)

7月のお題は「捨てる」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。

2024 年 6 月 発行 : 西神ニュータウン 9 条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>



HPへリンク

リニューアルした立命館大学国際平和ミュージアムへ行きましょう

金閣寺より約 10 分、衣笠通りを下った所に立命館大学国際平和ミュージアム（以下平和ミュージアム）があります。平和ミュージアムは今から 32 年前の 1992 年に設立されています。私たち 9 条の会も 2019 年に見学に行きました。その当時もそうでしたが、今も入館するとエントランスホールには壁にかかった手塚治虫さんの大きな火の鳥が出迎えてくれます。また、今回のリニューアルで 2 階にあった窪島誠一郎さんの「無言館」が玄関口に移されていて見学しやすくなっています。今回は関西の画学生の絵が多く展示されています。

地下の展示場は“過去の歴史と現在を見つめ、平和な世界をつくるための一步をふみだす”ことを中心テーマに、戦争の記憶と平和を求めた歴史から未来の在り方を考える展示がされていてダイナミックな年表表示およびテーマ展示、参加型表示で構成されています。中には戦中の民家や婦人や子どもたちの衣服も展示され、民家の畳の上に座ってカサのかかった電灯のもとで、戦時下の生活を偲ぶことができます。また、満州や南の島々や沖縄での戦争体験をビデオや音声で知ることができます。見学には、よく勉強、研究された優れたガイドさんが付き合ってくれます。また今回の特徴は学生ガイド、とりわけ中国、韓国、台湾等の留学生も参加されています。展示場の最後は“問いかけひろば”があり、見学した感想や発見を文章で表現して見学者でお互いに見つめあうこともできます。

今、私たちが住む日本では、沖縄をはじめとして戦争への道が進んでいます。平和ミュージアムを見学して発見しあって、語り合って、多くの市民とともに“平和創造の主体者”になっていきませんか。

国際平和ミュージアムの理念

人類は 20 世紀において、2 度におよぶ世界大戦を経験し、数千万もの命を失いました。しかし、地域紛争は今なお絶えることなく、多くの人々が生存の危機にさらされています。また、飢えや貧困、人権抑圧や環境破壊など人類が共同して解決すべき問題も、多様な形で浮上してきています。私たちは、紛争の原因を取り除き、人間の可能性が豊かに花開く平和な社会の実現に向けて努力することが求められています。立命館大学国際平和ミュージアムは、平和創造の面において大学が果たすべき社会的責任を自覚し、平和創造の主体者をはぐくむために設立されました。



(竹の台 米田 哲夫)

◆7月のつどい 7月21日(日)
「アジア諸国が描く戦争映画」
講師 永田喜嗣さん(戦争映画研究家)

西区文化センター2階第1会議室
14:00~16:00 参加費 300円
※詳しくはチラシをご覧ください

◆平和ミュージアムバスツアーのお誘い
日時: 8月30日(金)
行先: 「立命館大学国際平和ミュージアム」
参加費: 3500円

※お問合せは長久(090-6370-9317)まで

◆9月のつどい 9月15日(日)
矢野宏さん「新聞うずみ火」代表のお話

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は 8月1日(木) 16:00~17:00

「もっと生きたかった」

— 今、あの日の子どもたちの叫びを伝えたい

8月22日(木)18:30開演／ヒプレホール

～学童疎開船「対馬丸」撃沈事件から80年～

1944年8月22日、沖縄から九州へ疎開する子どもたちを乗せた「対馬丸」が、アメリカの潜水艦によって撃沈され、乗船者1788人のうち、疎开学童784人を含む1484人が犠牲となり、海の底に消えました。

そして、あの子どもたちの死から80年の歳月が流れましたが、今もガザやウクライナでは多くの子どもたちが戦火の中で傷つき、命を落としている現状があります。今も昔も戦争の一番の犠牲者は子どもたち…

「僕たちはなぜ死ななければならなかったの?」「私たちはもっと生きたかった」…覚悟なき戦死を強いられた子どもたちの声なき声は今も続いています。

私たちの団は、1989年に初演した委嘱作品、混声合唱組曲「海のトランペット—対馬丸の子どもたち」を、あの日から80年という節目の年である今年、神戸と沖縄(地元の合唱団とともに)で再演します。多くの皆さんに聴いていただき、この史実を伝え、そして私たちが生きる今を見つめたいと思います。ぜひ、私たちと一緒に平和へのおもいを共有してください。ご来場を心よりお願い致します。

神戸市役所ヤンター合唱団 萩原

ジョー 句

お題「捨てる」

捨てないで ぼくもまだまだ 役立つで (空耳)

自由題

リモコンの 届く宇宙で 生きている (高齢者)

残業は 会社でするな はよ帰れ (伝伝)

8月のお題は「AI」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。

“港の軍事利用と非核「神戸方式」”

6月16日(日)に、全日本港湾労働組合関西地方阪神支部特別執行委員の谷口利之さんをお迎えして、参加者14名で行いました。

港は直接軍艦が利用するだけでなく、物資の輸送にとっても重要な施設なので、戦争は港や空港に対する攻撃から始まるといわれます。政府が、国内16か所について「特定利用空港・港湾」に指定し、いざというときに使えるよう整備・拡充することを決定したのも、有事に備えたものです。そのような中で、神戸港は非核「神戸方式」を守っています。核兵器を積んでいないという証明書を出さないと入港できません。1975年に市議会でこの決議(核兵器積載艦艇の神戸入港拒否の決議)があげられて以来、アメリカ軍艦の入港は行われていません。

アジア太平洋戦争で日本が降伏して、神戸港も米軍に接収され、神戸港の突堤の出入りにはパスポートが必要だったそうです。朝鮮戦争・ベトナム戦争では、アメリカ艦船がほぼ年中停泊する兵站基地として、米軍のため多くの荷役が行われ、クリスマスイブの元町や三宮は米兵であふれかえっていたそうです。現在、沖縄が抱えているのと同じような米兵と市民のトラブルも多くありました。「米第7艦隊は日本・アジアから出ていけ」という粘り強い闘いが続きました。1968年に市議会で米軍の占有していた第6突堤(6突)返還決議があげられ、1974年に6突の無条件全面返還が実現しました。そして、次の年に「神戸方式」の決議があげられたのです。

「神戸方式」つぶしの動きもありますが、陸・海・空・港湾労組20団体が発足し、港湾を兵站基地にしない闘いが進められているとのことでした。(樫野台 KH)



それでも日本人は 「戦争」を選んだ

8月 は慰霊の月である。先月、朝日歌壇に「九条を守り守られ 80 年戦争知らず生きてきた日々」(野田啓子) が投稿されていました。内外の多くの死者への慰霊とともに、これからの平和を願う 8 月でもあります。「戦争世代」のひとが少なくなり「戦争を伝えられた世代」も高齢化するにつれ、「戦争を全く知らない世代」が人口の過半数を占めています。戦争のない平和をこれからも続けていくという

ことは、どのようなことなのでしょう。わたしたちの生活や社会が平和であり続けるには何が必要なのでしょう。

今年 6 月文科省は、令和書籍の中学生向け歴史教科書「国史」を検定合格としました。「国史」はその冒頭に天皇の皇統系譜図を示し、天皇制が世界でも稀なる国家の成り立ちであるとしています。また沖縄戦における「特攻」を「散華」と表現し、「集団自決」が日本軍の強制であったことに一切ふれていません。著者の竹田恒泰氏は「国史」発刊の目的を正論 8 月号に次のように述べています。「将来日本の支配層となる官僚候補生である有名私学の中学生に正しい歴史観、国家観を身につけさせる」「育鵬社や自由社などの検定教科書採択の選択肢を拡大させる」ものだと述べています。だがこの「国史」教科書の問題点や危険性を取り上げた報道は

沖縄の 2 紙と他 1 紙に過ぎませんでした。

4 月靖国神社の宮司に元海上自衛隊海将大塚海夫氏が就任しました。会報「靖国」で氏は「明治維新以降の日本の存在は、英霊の尊い献身無くしては有り得ないとの確心が英霊に対する感謝の念を深めた」と述べ、靖国神社の社是である聖戦史観、大東亜戦争史観、アジア解放戦争を肯定しています。また自衛隊創設から 70 年の今年陸上自衛隊、海上自衛隊の幹部などが「靖国集団参拝」を実施し、沖縄駐屯の陸自 15 旅団の公式 HP には沖縄戦を指揮した牛島司令官の皇国礼賛の辞世の句が掲載され、日本軍が長期に善戦敢闘したとの教育が行われているとの報道がなされました。

本稿のタイトルは、加藤陽子東京大学教授の著作「それでも日本人は戦争を選んだ」です。本書で紹介されているのが海軍大佐・水野廣徳(1875-1945) が戦前に書いた次の文章です。「日本は経済が大事なのだろう。国家の重要物質の 8 割を外国に依存している国なのだ。だから国民の命は通商関係の維持にある。通商の維持などは日本が非理不法を行わなければ守られるものである。現代の戦争は必ず持久戦、経済戦となるが物資の貧弱や輸出品が生活必需品でなければ日本は致命的な弱点を負っている。よって日本は武力戦に勝っても持久戦、経済戦に絶対勝てないということは、日本は戦争する資格がないのだ」と。

平和は、戦争が始まる前からひたひたとその「くらし」と「社会」を侵食され、「国の大義」によって破壊されていくのだろうか。そして日本人は「再び」戦争を選ぶのだろうか。(春日台・大西)

◆8月のつどいはありません

◆平和ミュージアム見学バスツアー

日時：8月30日(金)

「立命館大学国際平和ミュージアム」見学

参加費：3500 円

※お問合せは長久(090-6370-9317)まで

◆9月のつどい 9月15日(日)

「能登半島地震」

矢野宏さん「新聞うずみ火」代表のお話

西区文化センター2階第1会議室 14:00~16:00

◆10月のつどい 10月13日(日)

「吉本興業と関西の芸能」(仮題)

山口洋司さん(当会会員)に聞く

西区文化センター2階第1会議室 14:00~16:00

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は 9月1日(日) 16:00~17:00



『新聞うずみ火』

編集長 矢野宏さん

新聞を取る家庭は半分に減ったと言われます。西神中央の街でも古紙回収に新聞を出している家は激減しています。その理由は様々でしょうが、私は民主主義の危機だと思います。

新聞を見なくてもテレビやインターネットのニュース、SNS等で情報を十分得られると、考えているのでしょうか。実際に様々な立場、見方を変えた情報があふれる社会です。そんな現代では情報の質、真贋、分析が大事です。インターネットの情報は玉石混交、もっといえば意図して「嘘」も流されます。

今、信頼性の高い情報を提供する「仕事人」ジャーナリストが求められています。新聞社が弱体化すると、世の中の様々な出来事について、独自に調査取材して、分析、報道するジャーナリストを育てるところが少なくなります。

一人一人の意見によって社会をつくっていく民主主義には的確な情報を提供するジャーナリストが不可欠です。彼らは「権力の監視」であり「中立」ではなく「独立」を自覚する人たちです。

矢野宏さんは紛れもなく優秀なジャーナリストです。『新聞うずみ火』は月刊のミニコミ紙ですが権力を監視しています。そして現地現場に足を運んでいます。

これまで彼を招いて『大阪のテレビ局が報道しないこと』『今こそ平和を考えよう！』を開催しましたが、そこで自らの取材に基づいて、現在を分析してくれました。

9条の会で矢野さんを9月にお呼びします。テーマは「能登半島地震」です。

是非とも聞いてください。 (Q)

7月のつどい

アジア諸国が描く戦争映画！

永田喜嗣さんのお話は、「映画の発展は、戦争にある」というお話から、「アジア諸国では、抗日(こうにち)日本に抵抗する映画が多い」ことなど、私たちの知らない戦争映画の話に、参加者は惹きつけられていました。

特に、ドイツと日本の違いについての話が印象に残りました。永田さんは、もっと語りたい、もっと知りたいお話がたくさんあるように思いました。

参加者の感想を紹介します。

※太平洋戦争を被害者であるアジア諸国の人々の目線で考えたことがなかったので、新鮮な驚きの連続でした。

特に中国の国家に抗日の経験が反映されているとは・そのような話題を提供戴いた永田先生に感謝です。

※抗日映画の「加害」と「被害」の区別がわかりやすかった。日本人が抗日映画を見ないし、知らない。日本で抗日映画が作られていない背景に加害者意識の欠除があるのだろうか。戦前の日本と今のウクライナ戦争におけるロシアと同じ。

※抗日映画について初めて実態を知ることができました。日本では、多分、抗日映画は、上映できないと思う。...

戦争映画の話から、今日の情勢について新たな視点で考えることができて良かったと思います。参加者は、20名でした。 (K)

ジョー 旬

お題「AI」

AIはなんでも知ってる！ 知らんけど (空耳)

自由題

潜水艦 陸(おか)にあがれば 夜の街 (川重)

父の日は 誰も気づかぬ ままに暮れ (伝伝)

9月のお題は「列」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。



2024年8月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>



HPへリンク

朝ドラ「虎に翼」と「帰還不能点」

今年の8月も戦争と平和のドラマやドキュメントが新聞、テレビで数多く報道されました。毎年、8月のみ数多く報道されていて、戦争や歴史をどう向き合えばいいのでしょうか。当会でも『虎に翼』の主人公、寅子・三淵嘉子の夫星航一判事が何度も涙を流して謝っていた理由が判明しましたね」と「ニュースつながり」の編集者に送られてきました。星航一は戦争中「総力戦研究所」に属していて戦争を止めることができなかったことを悔いて涙したということでした。その「総力戦研究所」を扱った芝居が2022年11月に上演されています。劇団チョコレートケーキ劇団公演古川健脚本、日澤雄介演出の「帰還不能点」です。

あらすじは1941年に政府内に「総力戦研究所」が作られ、太平洋戦争に向けて、対米戦を開始すると日本の勝敗はどうなるかが議論されるが、戦後、1950年にその当時のメンバーが、仲間を偲んで居酒屋に集まる。そして、舞台では当時の模擬内閣が彼らによって行われる。昭和16(1941)年8月首相官邸で模擬内閣による『机上演習総合研究会』が行われ開戦後、緒戦の勝利は見込まれるが、物量において劣勢な日本の勝機はない、戦争は長期戦になり、日本の勝機はない。戦争は長期戦になりソ連参戦を迎え日本は敗れる、ゆえに日米開戦は何としても避けねばならない」と。当時集められたエリートたちは陸海軍、官庁、民間から30代の若手たち(星航一はそこにいた)であった。丹念に戦況を分析して報告したが、最後に東條英機陸相が「日露戦争でも勝てると思わなかったが、戦は意外なことから勝利につながる」と報告を無視し、さらに机上演習については口外しないよう求めた。結局総力戦研究所の研究は生かされず、同年日米開戦に突入していった。もはや、日本が後戻りできる最後のチャンスであったが。当時の軍部を始めとした国家主義者たちで後戻りができないほど、軍国主義は進んでいた。

私には、戦後1978年生まれの劇作家古川健が単に歴史の一コマとしてこの芝居を書いたのではなく、彼の作劇は「総力戦研究所」の史実を「帰還不能点」として舞台に上げて、歴史やあのアジア太平洋戦争にどう向き合うかを提示してくれた秀作(俳優たちの落ち着いた演技も素晴らしく)でした。

8月のこの季節の終わるにあたって、戦後80年になろうとしている今、「帰還不能点」を創らないために何をしなければならいだろうかと考えてみます。私には戦争や歴史に向き合う場合、一つの大きな指針になっているのが、大江健三郎さんが井上ひさしさんの「父と暮らせば」をかりての「取り返しのつかないものを、とりかえすために」

(岩波ブックレット)です。朝ドラ「虎に翼」では、日本国憲法がかなり再評価されていると聞きます(週刊金曜日では「虎に翼」が特集され憲法学者木村早太さんは「憲法の魅力とは」で憲法11条から14条そして24条が描かれていると、高く評価)。私たちは中でも、憲法9条守っていく運動を大きく広めていくことが、「帰還不能点」をつくらない、即ち、「取り返しのつかないものを」取り返していくことではないかと8月6日生まれの私は思っています。 たけし

◆9月のつどい 9月15日(日)

「能登半島地震」～遅れる復興から見えるもの～
矢野宏さん「新聞うずみ火」代表のお話
西区文化センター2階第1会議室 14:00～16:00
※詳しくはチラシをご覧ください

◆10月のつどい 10月13日(日)

「吉本と上方のお笑い～その今昔」
山口洋司さん(当会会員)に聞く
西区文化センター2階第1会議室 14:00～16:00

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は 10月1日(火)16:00～17:00



南海トラフ地震への心構え

日本列島は図の通り、4枚のプレートの継ぎ目にあります。プレートは日々、ゆっくり動いて、歪みエネルギー(E)を貯めています。その(E)が解放されるのがプレート型地震で、日本に地震が多いのは宿命です。

そんな中、8月8日に日向灘を震源とするマグニチュード(M)7.1の地震(図の★)が発生しました。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。津波は0.5mで済みましたが、もし、(M)が+1の8.1だったら(E)は32倍で、津波は平方根できくので5~6倍の約3mになり、東



日本大震災のように(M)が9を越せば、(E)は1000倍で津波は約30倍の15~20mに達し、太平洋側の港湾都市は壊滅的被害になります。

南海トラフ(海底の凹み)は、フィリピン海プレートがユーラシアプレートに潜り込む所で、有史来、白鳳(684年)、慶長(1605年)、昭和東南海(1944年)など、平均100年周期で発生し、大地震の巣となってきました。今回、震源が南海トラフに比較的近かったため、気象庁は用心して「南海トラフ地震臨時情報」を発令しましたが、幸い、異変はなく、7日後に終了出来ました。

地震予知は原理的に難しく、「臨時情報」はすぐに大地震が来るという意味ではありません。買占めなど拙速な行為は厳に慎むべきで、むしろ、これを機に地震・津波への備え(避難経路や防災用品など)の再確認、そして地道な耐震街づくりこそが生き延びる糧です。

また、一旦暴走すると制御不能となる原子力発電所をこんなヤバイ国土で動かすことは狂気に他ならず、100年スパンで将来世代に禍根を残すこととなります。(竹の台 西元)

兵庫革新懇一泊ツアーに参加しました

関西電力、自衛隊に支配される若狭のまち



8月25~26日、兵庫県革新懇が主催する夏の1泊研修ツアーに参加しました。

コロナで2020年から中断、実に5年ぶりの開催でした。革新懇とは、平和・民主主義・暮らしの「3つの共同目標」で「平和・民主・革新の日本をめざす全国の会」で、懇話会とか懇談会が名称になってはいませんが、さまざまな組織や個人で運営されています。

今回は美浜原発見学と舞鶴軍港の港めぐりがあり、三方五湖の観光も楽しみました。美浜町では関西電力のPRセンターで展示を見たり解説をVRゴーグルを付けて見たり、舞鶴では貸し切り遊覧船で護衛艦、イージス艦を間近に見ました。

現地の反原発連絡会のお話を聞いた美浜町の保健センターはヨウ素安定剤集積所となっており、原発事故が起これば一時避難所となります。舞鶴市役所は港のすぐそばにあり、自衛官募集の垂れ幕が2本もかかっていた。

町が、自治体が、関西電力、自衛隊にずっと飲み込まれ、それなしには存続し得なくなっている現実を見ました。人々の暮らし、安心・安全を守るには必要なことですが、声をあげること、平和について発信し続けることが今後も大切なことだと感じました。(美賀多台・T)

ジョー

お題「列」

恋をした 行列式を 解いた頃 (伝伝)

自由題

勘違い するわけないと 勘違い (空耳)

手ぶらでは 帰らぬ知事の 視察かな (現妻)

10月のお題は「米」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。

2024年9月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>



HPへリンク



人権無視、公益通報者保護法違反の

斎藤知事失職は当然、再出馬は許せない！！

斎藤知事が3月の告発文書問題発覚以降、自らの行為で県政を混乱・停滞させた責任を認めないため県議会は9月19日、県議86名全員による不信任決議を可決した。知事は26日に失職と再出馬を表明した。毎日、メディアに出ない日はないほど、日本国中で有名になり、皮肉にも自民党総裁選の「熱気」の思惑を見事に吹き飛ばした。

この間の斎藤知事の対応から見たのは、死者2人も出しながら、鉄仮面的な表情、人間としての資質が問われるのは当然としても、兵庫県行政や職員への不信感と知事を選んだ県民への批判もあった。いずれにしても、兵庫県に勤務していた私にとって、恥ずかしい限りだ。この間の職場の様子を聞くと、一般職員はこの問題とは関係なく、通常の仕事をこなしているが、一番の関心事は庁舎の建て替え問題である。現3庁舎を耐震性を理由に1庁舎と周辺庁舎で、現職員の4割出勤、後は在宅勤務体制が決められた。これでは災害体制が取れない、現場がわかっていない、道州制による「兵庫支所」の構想が頭にある等等。

前井戸知事は、一応、議員や幹部職員への「根回し」を行っていたが、斎藤知事は、国直結のトップダウンで、関係者は右往左往し、不評を買っていた。特に斎藤知事を推薦した自民党やそれに相乗りした維新にとっては、事前説明が少なく、議員軽視とみられ、不満が高まっていた。しかし、このような県の私物化と独裁を許した原因は、県議会がオール与党体制になったことが大きい。

今回の事件では、公益通報者保護法について、百条委員会で弁護士は「明白な違反」としたにもかかわらず、知事は「違反とは認識していない」と人権無視の体質とこれに追随した職員の体質も指摘された。

再出馬を表明した知事は早速、「3年間の実績」「県政改革」「高校生からの励まし」などをアピールしている。

今回の事件が発生した根幹には、地方自治体の議会がオール与党化していることにある。国の「自治体財源の効率化」による住民切り捨ての政策とそれに追随する政党、会派が首長の「自治体の私物化」と「独裁」を許している。

まもなく行われる県知事選挙は、「容姿」「若い」等ではなく、県民の暮らしや人権を守る政策を掲げる候補者を見極める必要がある。特に、平和を守る立場からは、姫路港の管理者は県知事であり、すでにアメリカの軍艦が入港している。非核神戸方式のように、核兵器を積載していない証明をださせて入港させる候補者の当選を願いたい。

(竹の台 S)

◆10月のつどい 10月13日(日)
「吉本と上方のお笑い～その今昔」
山口洋司さん(当会会員)に聞く
西区文化センター2階第1会議室 14:00～16:00
※詳しくはチラシをご覧ください

◆11月のつどい 11月17日(日)
内容は未定です
西区文化センター2階第1会議室 14:00～16:00

【他団体の催し】

兵庫憲法会議主催 神戸憲法集会
11月3日(日) 13時30分開会
お話 上脇博之 神戸学院大学教授
市立北区文化センター すずらんホール
参加費 1000円

◆年会費の銀行口座振り込みのご協力を
お願いしましたところ、多数の方が応えて
下さいました。ありがとうございました。

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな！」のアピール行動が続いています

★次回は 11月1日(金)16:00～17:00



明石における PFAS 血液検査の 結果の報告会に参加して

9月8日、明石川流域のPFAS汚染を考える会主催の報告会へ3名で行って来ました。

血液検査を受けたのは、明石川流域に10年以上住んでいる住民です。(東部排水場と中部配水場地域)。15歳から83歳の人たち33名です。7月27日検査実施されました。結果として、33名の汚染レベルは、「特にPFOAに関して高く、摂津市や東淀川区の汚染レベルに匹敵、あるいは超えるレベルであった」と、報告されました。(WHOの国際ガン研究機関によればPFOAは、発がん性の第一類に引きあげられています)

ドイツやアメリカでは、基準が厳しく、20ナノグラムを超えたら検査を受けるように指導されます。また、曝露を避ける対策を取らなければならないとされています。

今回の検査では、その値を超える人たちが約半数いたと報告されました。(日本では、血中濃度の基準すら設定されていません)

報告会では、実際に検査を受けた人が「私は、とても、高い値がでました。これから、どうしたらいいのでしょうか?」と質問していました。小泉先生が「20ナノグラムを超えたら、PFAS相談外来をお勧めします」と答えていました。「そして、このPFAS汚染を考える会の活動を強めてください。市民の力が大事です。国や自治体に働きかけていくことです」と、話されました。報告会に参加して、丁寧な報告や活動に明石市民の力を感しました。報道で知ったのか、市民の方が会場前で「何かあるんですか?」と、声をかけられ、PFASについて対話になり、関心が出て来ていることを実感しました。(K)

ジョー

お題「米」

米二俵 担ぎ酒席の 仲間入り (伝伝)

自由題

総裁選に 視聴率で勝つ 県知事さん (空耳)
この夏を 越せて供える 曼珠沙華 (骨歩)

11月のお題は「背」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。

9月のつどい

能登半島地震～遅れる復興、 被災地から見てくるもの

9月15日、新聞「うずみ火」の矢野宏さんを講師に迎えて行われた。

うずみ火とは、火鉢などで灰の中に埋めた炭火のことで、消えることなく翌日の新しい火種となる。中立公平ではなく「泣いている人」の立場に立った情報の発信で事実を知ってもらい、知ることが怒りになり未来の変革の力になるという思いからつけられた。

前半は、兵庫県知事のパワハラ問題。このニュースが届くころは一定の結論が出ていると思うが、斎藤知事・片山副知事らの専制的な支配が行われていたことが紹介された。知事不信任決議は可決された(9/19)が、その対応として知事が辞めずに県議会を解散すると、真相解明に動いている百条委員会も消滅する。阪神・オリックス優勝祝賀パレードの寄付が集まらないため、補助金を増額し、そのキックバックをあてた疑惑など、事実解明にふたをすることにならないか指摘された。

タイトルの能登半島地震と復興では、矢野さんは現場主義を貫いて、月一回能登を訪れて取材している。以前の観光の目玉だった輪島の朝市通りの毎月の写真が紹介された。地震以来8か月を経ても、ほとんど変化がないことに改めて驚かされた。東日本大震災や阪神淡路大震災にくらべて、政府の対応は非常ににぶく、救援のための自衛隊の動員数も圧倒的に少ない。復興の進まない背景には、万博・IR建設による人手不足、財務省などの「無駄な財政支出は避けたい」という後ろ向きの姿勢がある。矢野さんは「棄民」という言葉を何回か使われた。

現在の復興への動きも紹介された。若者たちが頑張っている。被災した料理人の炊き出しは「命をつなぐ食事」から「未来へ希望を広げる食事」になっている。能登の人たちは「忘れてほしくない」という気持ちが強いので、私たちが能登を訪問して「忘れていないよ」ということを伝えることが大きな励みになると話された。(参加者28名)

(樫野台 KH)



2024年10月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

HPヘリンク



「憲法違反」と「存立危機」を考える

集団的自衛権行使を一部容認するいわゆる安全保障法制(自衛隊法76条1項二号など)が制定されたのは2015年である。その後これらの法律に対し全国各地で憲法9条違反だとすると訴訟が展開されてきた。残念ながら、ほとんどの裁判所は、何ら憲法判断をしないまま、その訴訟をしりぞけてきた。その中で、唯一、仙台高裁は、23年12月に、精一杯の良心を発揮し、集団的自衛権の行使は、「我が国が武力攻撃を受けた場合と同様な深刻、重大な被害が及ぶことが明らかな場合に限られる」との、憲法9条を踏まえた厳格解釈を再確認した。

この判決判断を「台湾有事は日本の有事」と喧伝され、私たちを不安にさせる事態に応用すると、次のようになる。

台湾有事が起こった場合、アメリカがこれに介入して、中国との間で戦争になる。アメリカは日本に集団的自衛権の行使を要請してくる。わが政府はその要請に応え、自衛隊の出動(自衛隊法76条1項二号、ミサイル発射、戦闘機、戦艦の発進など)を命じ、一直線に進もうとする。判決の解釈はこれに「待った」をかけることになる。

自衛隊を出動するためには、76条1項二号に定める「存立危機」事態が必要であり、それは、わが国が武力攻撃を受けた場合に匹敵するような深刻な事態かどうかであり、この判断を厳格にしたうえでなければ自衛隊の出動を命じられない、と判決はいうのである。

中国が台湾の独立を制圧するために武力行使に及ぶとき、ついでに日本も攻撃しようとするであろうか。台湾、アメリカの外に日本をも敵にして戦うのは、台湾制圧の目的を困難にするだけであって、中国がそこまでするとは考えにくい。そうだとすると、台湾で戦争がはじまったとしても、ただちにわが国の「存立危機」事態は考えられない。

アメリカの要請に応じて自衛隊を出動させれば、中国はやむなく日本に反撃してくるであろう。「日本の有事」はそのとき始まり、戦争に巻き込まれるのだ。

自衛隊の出動を阻止する合法的な方法は二つ考えられる。一つは自衛隊法76条1項二号が憲法9条に違反し無効だから出動できない、とする方法(A)。もう一つは76条1項二号の「存立危機」事態を仙台高裁のように厳格に解釈し自衛隊が出動できる場合ではない、とする方法(B)である。

政府は今、台湾有事に備えてさまざまな軍事増強策を講じている。平和勢力はこれに反対しながら、それでも

政府が自衛隊に出動を命じた場合には国会で承認しない決議ができるようにしなければならない。そのためには、国会で今のうちから、政府が恣意的に「存立危機」事態を想定して軍事的諸政策を推進するのを暴露・追及し、それによって国民世論を喚起し、これを背景に戦争反対の保守層をも巻き込んで、政府を追い詰めていく以外にない。その方法は B であって、A では難しいと思われるが、いかがであろうか。(美賀多台 伊東武是)

◆ 11月のつどいはありません

◆ 12月のつどい 12月15日(日)

「憲法を巡る情勢について」(仮題)

吉田維一弁護士に聞く

西区文化センター2階第1会議室

14:00~16:00 参加費 300円

Act Now 1(イ千)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は 12月1日(日)16:00~17:00



～この違和感は何?～

11月17日投票で県知事選挙が行われます。全会一致で不信任となった斎藤氏が出馬されるようですが、「斎藤案外いいんじゃない」など斎藤氏の県政運営を評価する論調や「(告発)文書問題での初期対応は間違っていたが、それ以外は何も悪いことはしていないし実績も上げてきた」とする維新幹部の主張と軌を一にする論調が TV コメントーターや YouTube 動画などで流布されたりしています。また場所時間も明らかにされていない斎藤氏の街頭演説にテレビクルーと手紙持参のご婦人が偶然?に居てインタビューを受けるという出来すぎたニュースなども報道されました。『国民の違和感は何?』という堤未果さんの著書がありましたが、この違和感は何なのでしょう。

斎藤氏関連の SNS 投稿のバイト募集も出されていたという話もありますし、登録者数の多いユーチューバーに「港湾利権陰謀論」の投稿依頼があったという話もあります。

公共に対する責任、客観性やバランスのとれた報道よりも、刺激的で過激な見出しと虚実交えた陰謀論や単純化されたコンテンツの方が注目されるという SNS の特性を活用(悪用)した、都議選における「石丸現象」の基となった過激な切り抜き動画のように、兵庫県知事選挙においても巧妙に操作された情報が SNS 上で意図的に拡散されていくのではないかと危惧しています。お金をかけた巧妙な情報操作に、事情をよく知らない多くの人が惑わされたり、影響を受けたりしています。このような欺瞞に満ちた手段で人を欺こうとする動きには怒りさえ覚えます。

(ヒロシ)

ジョー

お題「背」

核大国 被爆者たちに 背を向けて (現妻)

自由題

安倍以来 嘘が平気な 人ばかり (伝伝)

「子育て」と 言って議員は 先ず息子 (世襲)

11 月のお題は「カレンダー」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。

10月のつどい

吉本と上方の笑い～その今昔

まだまだ聞きたい話

今月の集いは、西神九条の会の長年の会員である山口洋司さんのお話でした。

山口さんは1960(昭和35)年に読売テレビに入社されて、主に番組の制作部門を担当されてきました。しかも大阪府立上方演芸資料館「ワッハ上方」の立ち上げに関わるなど、上方の笑いに深い造詣も持っておられます。

標記のテーマの表も裏にも精通されています。

話は上方の笑いの戦前からの歴史であり、新喜劇と漫才の立ち上げから始まりました。そしてテレビの「とんま天狗」「番頭はんと丁稚どん」と「てなもんや三度笠」も触れました。(落語はレジュメにはありましたが、時間の関係で割愛でした)

新喜劇は、曾我廼家五郎・十郎劇団からはじまり、松竹新喜劇がそれを受け継いで、渋谷天外と藤山寛美を頂点に花咲きました。それを吉本新喜劇が「金のかからない喜劇」でドタバタ喜劇をテレビ局と提携する形で始めました。

今日の参加者の多くは幼少期にテレビで、それを見ていた世代です。

漫才は(萬歳、万才、漫才、MANZAI)と発展、変化してきました。吉本興業の林正之助会長は「上方漫才を全国的な演芸に育てた」と自慢しています。

下ネタの多い漫才を「家族で楽しめる演芸」に漫才作家の秋田実とともに変えていきました。現代漫才の始まりはエンタツアチャコ「早慶戦」です。

現在の不幸は劇場が少なくなったことです。昔の漫才師(やすしきよし等)は舞台に掛けることで、客と一緒にネタを磨いていった、と山口さんはいいます。

今日の話は2時間程度で「尻切れトンボ」でした。近年のテレビの「笑い」を占拠している吉本芸人などの、分析も欲しいと思いました。またの機会を期待しています。(Q)



2024 年 11 月 発行 : 西神ニュータウン 9 条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776(大西)



HPへリンク

全国の 9条の碑 建立の動き！

最近、「9条の碑」の新聞記事を目にすることが多くなった。

これは、国内での改憲の動きやウクライナ・ガザへの侵攻による戦争拡大化への危機感があるためだと思う。また、ジャーナリスト伊藤千尋氏が「9条の碑」建立の運動を進めていることも大きな支えとなっている。沖縄県に最も多く、今後52ヶ所になるようだ。当会でも関心が高くなっているので、最近の動きから、いくつか調べてみた。

① 長野県上田市

戦没画学生作品を展示する上田市の「無言館」近くの木立の中に、11月4日、憲法9条の条文を刻んだ石碑が建った。土地は館長さんの提供。

② 長崎市

被爆者らでつくる「9条の碑建立委員会」は、来年の被爆80年に向け、長崎市の平和公園に「9条の碑」を建設しようと活動している。11月3日、伊藤千尋氏は講演会で「憲法9条こそ憎しみの連鎖を断つ鍵であり、9条の精神で世界をリードしていくのが日本の役割」だと訴えている。

③ 足立区

「九条の碑を建立する会」は、9条条文を地球に見立てた鉄球に刻むユニークな碑の建立を2022年6月、足立区内に実現した。また、「世界に届け9条プレート」活動を行い、すでに届けた国は21カ国43団体。プレートは日本語版のほか各国版を用意。

④ 兵庫県内

福崎町にひとつだけあるが、このほど『須磨区に9条の碑をつくろう実行委員会』が運動を開始した。よく見える場所の選定や募金集めなどをこれから開始する。この成功のため12月19日に新長田ピフレホールで『立ち上げ集会』をもつ。講演者は一人芝居「憲法くん」を演じ続けている松元ヒロ氏。広く参加を呼び掛けている。

⑤ 沖縄

県内に6か所ある。石垣島と宮古島の9条の碑を昨年見学したが、沖縄戦の犠牲になった方々の不戦の願いが込められていた。
(竹の台 島田)



長崎の碑の模型



石垣島9条の碑

◆12月のつどい 12月15日(日)

「いま、自衛隊に起きていること」

講師 吉田維一弁護士

西区文化センター2階第1会議室

14:00~16:00 参加費 300円

※詳しくはチラシをご覧ください

◆1月のつどい 2025年1月19日(日)

内容は未定です

◆2月のつどい(年次総会)

2025年2月16日(日) 14:00~16:00

西区文化センター2階第1会議室

◆第17回記念のつどい *テーマ「被爆ピアノ」

2025年5月24日(土) 開演 13:30~

西区文化センター2階なでしこホール

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は **2025年1月10日(金) 16:00~17:00**

憲法集会が11月3日(日)北区すずらんホールで開催された。今回の講演者は政治と裏金問題で有名になった上脇博之さん(神戸学院大学法学部教授)。

まず、文化行事では、ギター演奏の近藤暢朗さんと広瀬一葉さんが登場。弁護士兼、自称フォークシンガーの近藤さんの独り舞台の様相だったが、広瀬さんの出番を作って欲しかった。上脇さんは、「上脇先生に聞いてみよう!」と事前アンケートを踏まえた青年とのトークの形で話を進めた。主な点は以下の通り。

Q1 結局、裏金とは何ですか。

A1 派閥の政治団体への収入を少なく報告して、差額をキックバックあるいは裏金プールしていた。額は億の単位

Q2 どうして政治にお金がかかるのですか？

A2 自民党総裁選で勝てば首相になる。公職選挙法適用外なので、買収し放題。このために裏金を使う。」「自民党本部の政治資金の翌年への繰越額は年間200億円。政党助成金も年間200億円。

Q3 本当の政治改革は何をしたらいいのですか？

A3 裏金作りが出来ないようにする政治改革を行う。例えば、企業・団体の政治資金パーティ券の禁止、内閣機密費は将来の使途の報告義務、企業・団体の政治献金の禁止、政党助成金の廃止(年間315億円を共産党を除く政党・会派に支給。自民党は憲法改正を問う国民投票時に貯めた政党助成金を使うと発言有)、選挙制度を小選挙区から完全比例代表制にする。などなど

この裏金問題の発端は「赤旗日曜版」のスクープで、これが国民的関心事となり、先日の選挙で自公政権が過半数割れとなった。しかし、このことが政治改革に結びつくかどうかは、今後よく見定めなくてはならない。

以上、政治とカネの問題を分かりやすく説明していただき、納得のいく講演会でした。(T)

ジ
ヨ
/
句

お題「カレンダー」

薄くなる 髪の毛に似る カレンダー (空耳)

自由題

国境へ ひとと戦(いくさ)に 渡り鳥 (現妻)

ヒップから おいどになって 里帰り (伝言)

1月のお題は「風呂」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。

11月の兵庫県知事選挙で斎藤氏が再選されたのは、70代の私には驚きであった。

選挙後のメディアは、50代より若い世代で斎藤氏の支持が過半数を超え18~20才では7割が支持と報道している。多くの県民が「内部通報」「パワハラ」を投票の判断基準とせず「斎藤県政」を評価し投票したと伝えている。百条委員会が結論を下す前に知事不信任を議会で議決した事により県民が問題点を十分に理解できなかった点は考慮されねばならない。ただ「内部通報」で県の人事局が「告発に事実が含まれる可能性を完全に排除できない」としていたのにも拘わらず、知事は告発者を特定し懲戒処分まで強行し、記者会見で「公務員としてあるまじき行為」と発言するに至った。

県には「兵庫県職員公益通報制度」があり、外部の弁護士や有識者で構成する「公益通報委員会」で審議、判断されるべきものである。知事再選によって公益通報者の人権無視は免責されるものではなく、民意を盾にそして多数をもってしても人権無視は正当化されるものではない。また今回の選挙では、SNSやYouTubeなどネットメディアで誹謗中傷が横行し、さらに自身への投票でなく斎藤氏への支持を主張する候補者までが現れ百条委員会の委員長宅まで押しかけ街宣車で罵詈雑言を叫び、県議員の一人は家族への危険回避のため辞職する事態となった。有力候補者は2回に亘り SNS のアカウントが凍結され公平な選挙かを問う訴訟も起きている。斎藤県政を評価している世代は多いが、評価の中身が問われねばならない。例えば県立大授業料無償化はその恩恵が進学希望の高校生の1.7%に過ぎず多くの学生の負担が減ることに繋がるのか疑問である。

百条委員会は、斎藤知事の「内部告発」問題などの結論を年内にも出す予定である。県政の民主化こそ県民の願いである。

春日台 大西



2024年12月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776(大西)



HPへリンク